

こども発達連携支援事業

1. 発達障がい等の理解・対応方法の知識普及、子育て支援機関従事者に対する専門知識の普及（効果的な子育て情報の発信）

「こども応援センターぱあむ」（以下、ぱあむ）のリーフレットを子育て支援機関に配布し、各機関の支援者からお子さんの発達が気になる保護者にぱあむを紹介し、発達相談等につなげてもらいました。また、年中児相談や発達支援コーディネーター会議を通じて、子育て支援機関（主に幼稚園・保育園・認定こども園）の従事者に対し、専門知識の普及に努めました（年中児相談と発達支援コーディネーター会議の実績は別記）。

2. 障がい等の早期発見・判定、関係部署との連携、支援につなげるための相談業務の強化
「ぱあむ」を核とした支援関係機関との連携体制の整備

（1）発達相談

発達に関する心配を抱える乳幼児について専門家が相談を受けました。

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
相談件数	225 件	256 件	294 件	323 件	324 件

（2）年中児相談

市内の幼稚園・保育園・認定こども園からの依頼を受け、年中児の保護者に発達アンケートを記入してもらい、要支援児童について行動観察を実施し、担任と保護者に助言しました。

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
訪問園	18 園	18 園	18 園	18 園	18 園
発達アンケート	692 人	653 人	645 人	596 人	595 人
行動観察	255 人	233 人	227 人	205 人	237 人
保護者面談	92 人	80 人	78 人	76 人	68 人

(3) 園観察訪問

年中児以外の児童について、集団の場における過ごし方等に関する助言やケース会議に参加しました。

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
訪問実数	13 園	19 園	16 園 1 施設	17 園 1 施設	15 園 1 施設
指導実施数	80 人 (のべ 91 人)	110 人 (のべ 132 人)	82 人 (のべ 92 人)	78 人 (のべ 97 人)	100 人 (のべ 123 人)

(4) 発達支援コーディネーター会議等

市内の幼稚園・保育園・認定こども園等から選出された発達支援コーディネーターを主な対象とし、情報交換や発達支援について学ぶための研修会を開催し、発達障がい等の要支援児童とその家族への支援体制の整備に努めました。

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
実施回数	3 回	4 回	5 回	4 回	5 回
参加人数	のべ 58 人	のべ 113 人	のべ 170 人	のべ 143 人	のべ 163 人

3. 「プロフィールブック」の充実、保護者主体の有効活用の推進

保護者が児童の成長記録や関わり方を記録し、園・学校などの支援者と情報を共有するための「プロフィールブック」を作成し、主に児童発達支援センターくれよんで保護者に手渡し、活用を勧めました。

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
交付人数	60 人	52 人	61 人	58 人	54 人

4. 「いのちのふれ愛教育」の推進

幼児期から自分の体を守る気持ちを育てるための教育プログラム「いのちのふれ愛教育」を希望する幼稚園・保育園・認定こども園で実施しました。

		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
実施園		17 園	9 園	19 園 1 施設	19 園 1 施設	19 園 1 施設
参加人数	プライベートゾーンのみ講話	128 人	243 人	1,159 人	1,208 人	1,284 人
	命のはじまりを含む講話	660 人	121 人	714 人	771 人	721 人